州政府東京事務所

アルバータ州

アイヴァン・バムステッド
所長

アルバータ州が東京に事務所を開設したのは十一年前。当初の目的は農産物と天然資源の対日輸出および観光の振興を図ることにあった。しかし、一九七九年、同事務所の活動範囲は大幅に拡大された。

アルバータ州の対日貿易は、エネルギー資源(特に原料炭と一般炭)と食糧(小麦、なたね、大麦、豚肉、牛肉、ハチミツ、ピートモスなど)を中心にきわめて活発。アルバータ州はまた、豊富な天然ガスを利用して世界的規模の石油化学産業を急速に発展させつつあり、その面での日本との提携も深まってきた。東京事務所では、こうした経済関係の促進に特に力をいれてきた。

観光客の誘致にも熱心だ。一九八二年には世界ボーイスカウト・ジャンボリー、八三年にはユニバシアード(国際学生スポーツ大会)、八八年には冬期オリンピック大会がアルバータ州で開催されることになっており、バンフなど名所の多い同州を訪ねる観光客は、ますます増えう。

アルバータ州は昨年、北海道と姉妹縁組みをしており、両者の間で活発な交流が続いている。

商務官　道明栄爾

オンタリオ州

ダグラス・ジュア
駐日首席代表

オンタリオ州政府が、日本からの産業投資、観光客を誘致し、日本との貿易を促進するため、十一年前に設置した事務所で、現在職員は八人。

ライセンス契約、合弁事業、プラント建設などを通じて北米市場で事業をするのに、オンタリオ州の立地条件がきわめてすぐれていることを知ってもらうのが主な仕事。東京事務所は、また在日カナダ大使館と緊密に協力して、オンタリオ州の企業が製品や製造技術を日本に輸出するのを手伝う。

また幅広い観光振興活動を実施し、オンタリオへの旅についての問い合わせに応じている。

オンタリオ州はカナダ最大の食料生産地で、日本への農業・畜産輸出は年々増えている。日本におけるオンタリオ産食料品のシェアをさらに高めるための輸出市場開発活動にも、東京事務所は熱を入れている。

代表　レイモンド・マッケーグ
商務代表　大木衛
ツーリズム駐日代表　山本昭生
ツーリズム・カウンセラー　赤羽頼子
農業食糧省日本地区代表　竹内　博

ケベック州

M. ベルジュロン
アジア地区総代表

東京にケベック州政府事務所がおかれたのは一九七三年。当初はケベック・ハウスと呼ばれ、主にケベック州と日本との間の通商産業関係の促進を任務としていた。在日事務所になったのは一九七六年で、活動範囲は経済・貿易を中心に、大幅に拡大された。今では文化交流、観光案内、ケベック州についての広報などにもタッチしている。

ケベック州は天然資源に恵まれ、基盤整備も良好。ジェームズ湾に面した州北部の広大な地域では大規模な水力発電開発プロジェクトが進められており、州の将来性はさらにふくらんできた。ケベック州では経済開発のため外部からの技術や資本を必要としており、この点、日本に対する期待は大きい。

ケベック州の昨年の対日貿易は、初めて黒字(五千万ドル)を記録した。州政府事務所では、対日貿易の一層の拡大に力を入れている。

スタッフは、十月二十一日に就任したばかりのマルセル・ベルジュロン州政府アジア地区総代表(前ケベック州通商産業観光省対外通商担当次官補)のほか、次の各氏。

ポール・トラハン参事官(経済担当)
ジェラルド・コーテ参事官(農水産・食糧担当)
ジル・ポメロ総務担当官

カナダ大使館

東京都港区赤坂7丁目3-38
電話(03)408-2101

査証部
東京都港区赤坂8丁目5-25
電話(03)403-9176/8

観光局
東京都港区赤坂8丁目5-32
山勝ビル5階
電話(03)479-5851/4

関税・消費税局
東京都渋谷区広尾2丁目2-16
メゾン・ジュエ
電話(03)400-7137/8

科学技術部
東京都港区赤坂8丁目5-32
山勝ビル5階
電話(03)479-5855/5754

◆

州政府事務所

アルバータ州
東京都港区南青山1丁目1-1
ニュー青山ビル西館17階
電話(03)475-1171/3

オンタリオ州
東京都港区浜松町2丁目4-1
世界貿易センタービル1219
電話(03)436-4355

ケベック州
東京都千代田区永田町
2丁目2-14
山王グランドビル501
電話(03)581-4618